

# WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

## ～個別最適な学習環境の構築に向けた研究開発事業（筑波大学附属学校教育局）～

### 事業目的

本学が開発した国際的オンライン教育プラットフォーム「JV-Campus (Japan Virtual Campus)」を活用して、国内外の高校生向けの先取り履修システムを構築することによって、多くの高校生の課題解決型学習への興味・関心の喚起と先取り履修・単位修得を実現し、優秀な学生の大学早期卒業を可能とし、持続可能な国際社会の創成に向けて活躍できる人材の育成に資することを目的とする。

具体的な取組としては、本学と附属坂戸高等学校（令和元年度～3年度WWL事業採択：拠点校）が取組んだ「国際フィールドワークを通じて持続可能な国際社会を創る人材育成システムの構築」において開発した学習コンテンツや筑波大学生物資源学類、地球規模課題学位プログラム（BPGI）等から提供を受けた課題解決型のコンテンツを本学附属高等学校を中心としたALネットワーク連携校（国内8校）をはじめ、将来的にはWWL・SGH連携校や海外校・東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）スクールネットワーク校（※）に提供し、「つくば型WWLコンソーシアム（仮称）の構築」を実現し、前例のない質の高い教育実践を可能とするものである。

※ 東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）スクールネットワークとは、世界中の教育機関のネットワークとパートナーシップの発展させることを目的として設立され、ASEAN諸国を中心に約2,600機関が加盟しているプロジェクト。附属坂戸高等学校は日本の高等学校で唯一の加盟校であり、これまでもWWL拠点校として、海外校との情報共有や高校生SDGs国際会議への参加等、緊密に連携を図っている。

### 事業内容：持続可能な国際社会を創る人材育成のためのオンライン先取り履修システムの構築



#### R4年度

- ・「個別最適な学習環境構築調整会議（仮称）」を組織
- ・学習プログラム内容検討

#### R5年度

- ・JVCIに「WWL附属学校教育局Box（仮称）」を設置
- ・被提供校による試行受講
- ・被提供校教員向けの研修を実施

#### R6年度

- ・学習コンテンツの改良・充実
- ・被提供校をALネットワーク連携校（国内）へ拡充
- ・被提供校拡大を目指した調査

#### R7～9年度

被提供校をSGH・WWLネットワーク校や海外校へと拡充し、希望する高校生による正式な受講を開始する。本学第4期中期目標を達成する。  
【中期目標（抜粋）：大学との連携体制強化のための先取り履修・単位認定システムを構築する】